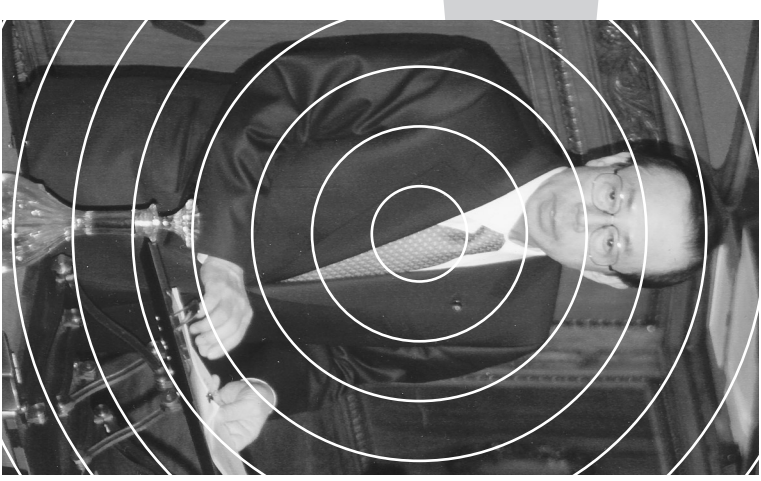


政権投げ出しの 無責任政治は許さない



自民・公明連立政権の福田首相が9月1日、辞任を表明しました。もうすぐ物価高など国民生活にかかわる緊急の問題を課題とした臨時国会が始まるというタイミングでの政権投げ出しは、無責任そのものです。政権と一緒に国民への責任も放り投げってしまったのです。

しかも、昨年の安倍首相に続いて2年2代連続の突然の首相辞任です。自公連立与党はもはや、政権担当能力を失ったと言うほかありません。政権を担えないのなら、直ちに衆議院を解散し、国民の審判を仰ぐべきです。社民党は、即時解散・総選挙を行なうことを強く求めます。

企業はもうかっているのに一向に上がらない給料、不安定な働き方、将来の社会保障制度の負担増や消費税率引き上げへの不安…国民の生活は今にも底が抜けてしまいそうです。社民党はこの臨時国会で、有効な緊急経済対策に加え、後期高齢者医療制度の廃止などを求めています。政府・与党がこうした国民の痛みと切実な声に背を向けるのなら、国民生活をカづけられる新しい政治をつくらなければなりません。社民党は、自公政治からの転換こそが総選挙の争点だと訴え、参議院に続いて衆議院でも与野党逆転を成し遂げ、安心のできる暮らしを実現します。

いのち、暮らしを守る

社民党